

<p>専門部会 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 こもれび (相談支援部会、知的・身体障がい部会) ・相談支援事業所 さど (精神障がい部会) ・障がい者就業・生活支援センターあてび (就労支援部会) ・子ども若者相談センター (ひきこもり支援部会、療育支援部会) <p style="text-align: right;">計 6 名</p>
<p>傍聴者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 ・社会福祉法人佐渡福祉会 ・社会福祉法人とき福祉会 <p style="text-align: right;">計 6 名</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民福祉部社会福祉課 <p style="text-align: right;">計 3 名</p>
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立支援協議会 ひきこもり支援部会報告 ・第3次佐渡市障がい者計画・第5期佐渡市障がい福祉計画・第1期佐渡市障がい児福祉計画（素案）のパブリックコメントにおける意見の概要と市の考え方について（案） ・第3次佐渡市障がい者計画・第5期佐渡市障がい福祉計画・第1期佐渡市障がい児福祉計画（素案） ・第3次佐渡市障がい者計画・第5期佐渡市障がい福祉計画・第1期佐渡市障がい児福祉計画（概要版）（案） ・第3次佐渡市障がい者計画・第5期佐渡市障がい福祉計画・第1期佐渡市障がい児福祉計画の主な変更点 ・佐渡市地域生活支援拠点等の整備（案）【面的整備型】
<p>進行及び 協議内容</p>	<p>1. 開会</p> <p>[事務局進行]</p> <p><配布資料の確認></p> <p><座長に議事進行依頼></p>

<座長よりあいさつ>

[座長進行][事務局内容説明]

2. 議題

(1) 議題の地域自立支援協議会各専門部会の取組み状況について報告を事務局から説明をお願いします。

<専門部会事務局より一括説明>

《ひきこもり支援部会》

<質疑・意見>

・佐渡総合病院 副院長 岡崎氏

「成功したケースやうまくいったケースなど、どのような成功ケースがあるのか。また、ひきこもりから自立まで繋げたケースはどのくらいあるのか」

ひきこもり支援部会事務局

「一人ひとり状況は違うため、どれが成功ケース（例：自分の部屋から出て、家族と食事を摂れた。家から出なかった子が家から出れた）であったかの評価が難しいと考えている。また、関係機関が何度も訪問し、中々うまくいかないケースも支援に関わらず、本人のちょっとしたきっかけでハローワークやサポステに行くような事例もあつたりするため、どれくらい成功ケースがあるかは評価が難しい」

佐渡総合病院 副院長 岡崎氏

「様々なケースがあると思うが、ケースの積み重ねが大切だと思うので、引き続き、取り組んでほしい」

佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「非常に難しい問題だと思うが引き続き、取り組んでほしい」

・新潟県立佐渡特別支援学校 校長 杉坂氏

「高等学校との連携強化とあるが、具体的な内容とはどのような連携を考えているのか」

ひきこもり支援部会事務局

「今まで、小中学校の義務教育については、不登校者の状況などの情報共有はある程度できていたが、高校になると不登校や中退者の情報が入ってきていない現状があつた。その情報が適切に経由できる体制づくりが必要であると考えている」

新潟県立佐渡特別支援学校 校長 杉坂氏

「現状の動きはないということなのか」

ひきこもり支援部会事務局

「高校については、年1回学校訪問している。そこでは、子ども若者相談センターの紹介と情報提供のお願い、現状困っている方の状況把握のため、実施しているが個人情報の兼ね合いもあり、中々情報が得られていない状況がある。早期に支援の関わりができれば良いが、うまくいっていないのが現状である」

新潟県立佐渡特別支援学校 校長 杉坂氏

「平成27年度に高等学校等関係機関との連携について検討とあるが、当時ほどの程度まで議論が進んでいたのか」

ひきこもり支援部会事務局

「今後、高校とも連携が必要ではないかという提案にとどまっている」

新潟県立佐渡特別支援学校 校長 杉坂氏

「高等学校の校長会が毎月ある。その中でも情報を共有したりなど実施している。特別支援学校や特別支援学級のひきこもり支援が必要とする生徒も増えてきている。情報交換をする中で、子ども若者相談センターに相談したなどの声があがっている。中退する場面、卒業する場面で福祉支援が必要なケースは子ども若者相談センターへ相談するといった体制づくり、あるいは、その親御さんにこういった相談窓口があるという情報提供も考えられるので、是非とも検討していただき、連携をとってほしい」

ひきこもり支援部会事務局

「以前から高校との連携が必要であると部会でも話し、今年度から部会の構成員に高校の校長先生を加えている。今後、先ほど頂いたご意見を踏まえて、連携を強化していきたいと考えている」

(2) 議題の「第3次佐渡市障がい者計画」「第5期障がい福祉計画」「第1期障がい児福祉計画」について協議したいと思います。

<事務局より説明>

事務局より以下の項目を一括説明

- ・パブリックコメントにおける意見の概要と市の考え方（案）
- ・前回の地域自立支援協議会からの計画の主な変更点
- ・概要版（案）
- ・地域生活支援拠点等の整備（案）

〈パブリックコメントにおける意見の概要と市の考え方（案）〉

「平成30年1月19日（金）～平成30年2月19日（月）まで、意見の募集を行い、計6名の34件の意見をいただいた。計画書に反映した箇所については、計画の主な変更点に記載している」

〈前回の地域自立支援協議会からの計画の主な変更点〉

「変更は、第3次佐渡市障がい者計画と第5期佐渡市障がい福祉計画・第1期佐渡市障がい児福祉計画を統合し、目次を追加。障がい福祉計画の後に、資料編を追加。資料編には、本協議会の要綱や構成図、用語集を追加している。表中右に『加筆修正済の有無』があるが、済みとなっている項目は、現計画書（案）に反映している箇所になり、空欄は計画書（案）に反映されていない箇所となる」

〈概要版（案）〉

「計画趣旨や計画期間等を記載。今までの概要版にはルビが振られていなかったが、市民の皆様にも少しでもわかりやすいようにルビを追加。今後、印刷製本する際には、構成の修正と親しみやすいイラストを追加する予定」

〈地域生活支援拠点等の整備（案）〉

「本計画（案）にも記載しているが、平成29年4月から既存の機能連携に基づく面的整備型で検討を進め、平成30年から要綱を制定し、施行する」

〈質疑・意見〉

- ・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 神山氏

「パブリックコメントを受けての主な変更点についてだが、計画書（案）の71ページの工賃水準引き上げの取り組みで、『福祉分野との農業分野をはじめとする他産業分野と連携し、障がい者雇用率の向上を図っていきます』と施策概要を追加するようだが、工賃水準の引き上げの取り組みの標題に対し、『…障がい者雇用率の向上を図っていきます』という文章の締めになっている趣旨を教えてください」

事務局

「ご指摘のとおり、標題と文章の締めの整合性が取れていない。文章の締めに工賃水準の引き上げを図っていくというような表現に変更していく」

新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 神山氏

「この考え方には賛同するので、是非積極的に取り組んでほしい」

- ・佐渡総合病院 副院長 岡崎氏

「地域生活支援拠点等の面的整備で、相談の24時間365日の相談窓口

の創設検討とあるが、これからそのような窓口を設置するということなのか」

事務局

「平成 29 年 4 月より、佐渡市の社会福祉課内に『佐渡市障害者基幹相談支援センター』を設置している。本センターは 24 時間 365 日で対応が可能となっているが、今後、他の相談支援事業所等と連携をし、さらに充実したものとなるよう取り組んでいく」

佐渡総合病院 副院長 岡崎氏

「ワンストップ対応が可能となる体制は非常にありがたい。是非とも、その体制を強化して行ってほしい。また、相談を受ける側も短期での交代でなく、ある程度長い年数携わってもらえると顔がみえる関係が築きやすいと考えるため、検討してほしい」

・佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「他にご意見がないようなので、まとめたいと思う。先ほどの事務局の説明、意見等を踏まえ、本計画（案）を承認される方は挙手をお願いしたい」

《 参加者 全 14 名 挙手 》

・佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「ご賛同ありがとうございました。それでは計画について、計画書及び概要版の印刷製本を引き続き進めてほしい。また、平成 30 年度から新計画が始動となるが、基本理念である『障がい者の健やかな生活と自立を、思いやりで支える安全安心な島（まち）づくり』を念頭に置いて、市だけでなく、本協議会に参画している参加者の皆様、その関係者等が一丸となって、この計画が実りあるものになるよう協力をお願いしたい」

3. その他

<佐渡地域振興局健康福祉環境部から連絡>

[平成 29 年度第 3 回佐渡圏域障害者地域生活支援連絡調整会議の報告]

	<p><座長よりあいさつ> <座長終了></p> <p>[事務局進行] 4. 閉会</p>
備 考	<p>第4回地域自立支援協議会を欠席された3名の参加者には、事前に資料送付をし、計画書（案）を確認した上で、3名とも計画の賛同をいただいている。</p>